



～ 夢ひとすじに ～

宮原中だより

自ら学び 心豊かに たくましく

第 9 号

平成 25 年 1 月 7 日 1 月号

さいたま市立宮原中学校

メールアドレス
miyahara-j@saitama-city.ed.jp

ホームページアドレス
<http://miyahara-i.saitama-city.ed.jp/>

「人間づくり」

校長 山下 誠二

新年、あけましておめでとうございます。謹んで年頭のご挨拶を申し上げ、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

2013年(平成25年)巳年の始まりです。中国の前漢のことを記した歴史書では、「止む」の意味の「巳」とし、草木の生長が極限に達して次の生命が作られ始める時期と解釈されており、力強い生命力という意味があるそうです。学校現場では、いじめや自殺等の問題もありますが、生徒たちに夢や希望を叶えられる1年となることを願って今年も教職員一同頑張っていきます。

さて、1月2日、箱根駅伝の応援に小田原まで行ってきました。毎年、鈴廣かまぼこ店前で応援しますが、4年前にたまたま応援していた場所で、あるおばあさんと知り合いになりました。昭和3年生まれですから、現在84歳です。鈴廣かまぼこ店の裏が自宅で、かれこれ60年以上もこの場所で応援しているそうです。(お店の土地も貸しているとか...) 記念写真を毎年撮って翌年再会し、お届けすることを続けています。昨年、そのおばあさんの自宅の隣の方(75歳くらい)とも知り合いになり、輪が広がりました。今年は、写真のお礼にと自宅の庭で取れた無農薬のミカンとレモン、そして、自ら漬けられたという奈良漬をいただきました。60年以上も毎年応援されている箱根駅伝には、選手の走りだけでなく、このような縁ができるのも箱根駅伝特有のものかもしれません。来年もいろんなお話が聞けるのが楽しみです。

今年は、昨年19位とどん底を味わった日本体育大学が優勝しましたが、部を改革するために、別府監督の恩師である、元西脇工業高校の渡辺公二監督を特別強化委員長として招聘したことが話題となりました。この渡辺監督の指導法とは、勝つためだけの練習だけではなく、“選手づくり、人間づくり”だそうです。(6月号に書かせていただいた原田先生とよく似ています)

- (1) あいさつをする... 同僚、先生、通学中の駅員、すべての人たちに「おはようございます、ありがとうございます、さようなら」といったあいさつをさせた。
- (2) そうじをする... 教室、便所、校庭、部室、グラウンド、学校の周り、通学の駅前といったところすべてを早朝または練習終了後に必ずさせた。
- (3) 校則を守る
- (4) 授業は耳で聞くのではなく目で聞け 眠るな
- (5) レポートは必ず提出する

といった当たり前“世間の常識”を繰り返し繰り返し、出来るまで実行させたそうです。大学生に一から教えるということは大変なことだと思いますが、「凡事徹底」当たり前のことを当たり前にすることが、優勝への最大の近道だったのではないかと思います。連覇を阻まれた東洋大学は、1月4日、早朝5時から16km走を敢行し、新チームが始動しました。宮原中学校も本日7日から、3学期における「人間づくり」をスタートさせます。本年もよろしく願いいたします。



1月4日 宮原中野球部 練習初め
大宮氷川神社へランニングし、必勝を祈願しました。